

概要：白鷗大学の体育館の安全対策の為、吊り天井の耐震対策工事を実施したことで、首都直下地震等の発生時に天井材の落下による利用者の負傷が防止できる見込み。

対策名：13-1 私立学校、私立専修学校施設の耐震化対策(私立学校施設)＜5か年加速化対策＞【文部科学省】

- 実施主体：学校法人白鷗大学
- 実施場所：栃木県小山市
- 事業概要：東日本大震災では多くの学校施設において、構造体のみならず非構造部材の被害が発生した。その後本学においても吊り天井等の落下防止対策状況及びその他の非構造部材の耐震対策状況等調査を実施し該当する箇所の対策を順次行っている。

大行寺キャンパス第三体育館2階武道場(本武道場は小山市避難所に指定されている)の安全対策の為、吊り天井の耐震対策工事を実施した。

- ・下地材の耐震化、斜め材の設置
- ・天井と壁のクリアランスの確保
- ・照明器具等の落下防止

- 事業費：約4,000万円(令和5年度)

- 想定している災害、効果見込み：

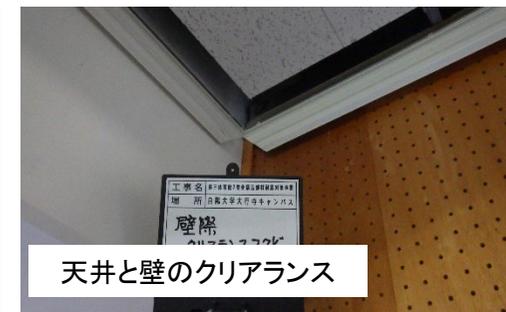
今回吊り天井の耐震対策工事を実施したことにより、今後授業、部活、避難所等で使用している際に首都直下地震等の大きな地震(震度6強を想定)が発生した場合にも、天井材の落下による利用者の負傷が避けられる見込み。また、施設被害を防止することで、避難所として利用できる見込み。



第三体育館2階武道場全景(約1,000㎡)
避難所として利用にあたっては、最大200人程度の受け入れを想定している。



下地材補強状況



天井と壁のクリアランス



ワイヤーによる照明器具の落下防止